

## 製品安全データシート

## 1 製品及び会社情報

製品名 ワンメイクB5  
会社名 株式会社ドット・シー  
住所 千葉県松戸市常盤平6-28-14  
担当部門  
担当者 渡辺隆二  
電話番号 047-711-6066 FAX 047-711-6067  
緊急連絡先

## 2 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(反復暴露): 区分2



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ

注意書き

予防

粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

対応

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。

保管

換気の良いところで保管する。容器を密閉して保管する。

廃棄

内容物/容器は国/地方の法規に従って適正に廃棄する。

## 3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管(PRTR)法政令番号
天然ワックス	1-5	非公開	
シリコンオイル	1-5	63148-62-9	
水	55-60	7732-18-5	
ミネラルスピリット	20-25	非公開	
乳化剤	1-5	非公開	
酸化アルミニウム	1-5	1344-28-1	
研磨剤	1-5	非公開	
添加剤	0.1-1	非公開	

## 4 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

呼吸症状が出た場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

溶剤、シンナーを使用してはならない。

多量の水と石鹸で洗う。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受ける。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐ。

無理に吐かせてはならない。

直ちに医師に連絡をする。

### 5 火災時の措置

#### 適切な消化剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

#### 特定の消化方法

指定の消化剤を使用する。

可燃性のあるものを周囲から素早く取り除く。

周囲の設備などに散水して冷却する。

#### 消火作業用の特別な保護具と予防措置

消化活動は風上より行い、有毒ガスの吸入を避ける。

適切な保護具(耐熱性保護衣など)を着用する。

### 6 漏出時の措置

#### 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

関係者以外近づけない。

#### 環境に対する予防措置

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

#### 封じ込めおよび浄化方法と機材

漏出時は密栓できる容器に回収する。

静電気などで火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

#### 二次災害の防止策

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

### 7 取扱いおよび保管上の注意

#### 安全な取扱いのための予防措置

##### 技術的対策

(取扱者の暴露防止)

必要な個人用保護具を使用する。

(火災・爆発の防止)

静電気対策を講ずる。

#### 安全取扱い注意事項

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。

換気の良い場所で取り扱う。

#### 配合禁忌等、安全な保管条件

##### 適切な保管条件

容器を密閉する。

日光から遮断する。換気の良い場所で保管する。

凍結させないように保管する。

### 8 暴露防止及び保護措置

#### 職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

##### 許容濃度

(酸化アルミニウム) ACGIH(2007) TWA: 1mg/m<sup>3</sup>(R) (じん肺症、下気道刺激、神経毒)

#### 適切な工学的管理

適切な換気のある場所で取扱う。

排気/換気設備を設ける。

#### 個人用保護具など個人保護措置

##### 呼吸器用の保護具

呼吸用保護具を着用する。

##### 手の保護

保護手袋を着用する。

眼の保護

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護手袋及び保護衣を着用する。

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状: 液体

色: 淡黄色

ph: 約9.1

引火点: 100°Cまで未引火(セタ密閉式)

比重: 約0.97

10 安定性及び科学的

科学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件においては安定である。

11 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関する症状

発がん性

(酸化アルミニウム)

ACGIH-A4(2007):(ヒト発がん性因子として分類できない)

短期暴露による即時影響、長期暴露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性(反復暴露 区分2)

(酸化アルミニウム) 肺;吸入 (EHC(1999))

12 環境影響情報

環境有害性

水溶解度

(酸化アルミニウム)

溶けない (ICSC、2000)

13 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

輸送の特定の安全対策および条件

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。

15 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当しない

労働安全衛生法

第3種有機溶剤等:

ミネラルスピリット

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9):

酸化アルミニウム;ミネラルスピリット

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない

消防法

法第9条の3、危険物規制令別表第4指定可燃物:可燃性液体類:(指定数量)2m3

16 その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (4th ed., 2011),UN

MSDS・ラベル製作ガイドブック(改訂初版、平成19年5月)、日本塗料工業会

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 17th edit. UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (reg.(EC) No 1272/2008)

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2011 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7250 (2010年)「化学物質等安全データシート」

原材料/製品メーカーMSDS

#### 注意

危険、有害性の評価は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保障をなすものではありません。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処理を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

全ての化学製品には未知の危険性、有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任に於いて、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。

---